

## サービス改善計画書

策定日： 令和6年4月25日

事業・サービス名： 放課後等デイサービス

施設・事業所名： アトリエパンダ

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考 (必要な予算等)
放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	B	感染対策の一環で他所との交流は自重してきたものの、規制も緩やかになったので積極的に企画を進めていきたい。	試みとしてイベント日などを利用して障害のない子どもを含めた活動（世代間交流等）を取り入れている。	令和6年5月～隔月に1回ペース実施	管理者	参加者1名につき500円程度を予定
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	B	感染予防に鑑み実施は延期していたが「美術の授業参観」という形式で保護者交流を始めたい。	アトリエパンダではイベントを隔月程度で開催、そこでの保護者参加及び交流などは可能（保護者参加は任意）	令和6年学校休業期間以外の月に実施予定。年6回ほど	管理者	参加者1名につき500円程度を予定
保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	A	この項目は積極的に行っていますが、一部意見として「いいえ」がありました。	保護者感想からは「子どもの進路や家での問題についても聞いてくださり有難いです。」など多数あり、今後ご家庭個々のご事情に最大限配慮し、適切に対応させていただく所存です。	順次実施を継続	代表取締役、管理者	—
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	B	現状、学校関係者をはじめ、児相、行政の関係機関からの助言をいただきながら業務にあたっているもののまだ未熟な部分がある。	外部評価を依頼する第三者委員の充実を図っていくつもりです。	あらたな第三者委員を選任済	代表取締役、管理者	—
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	B	今のところ充分とは言えないが、現状ではケース会議などでの目標共有と振り返りが中心となっている。	改善点について協議している。研修や職員会議を経てPDCAサイクルシートを作成し業務改善にあたっていくことを計画しています。	令和6年さらに深めたい	代表取締役、管理者	—
放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	B	5年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり大々的には交流の機会がなかったが新年度は企画再開。	アトリエパンダイベントを隔月程度で開催し異年齢の児童や受給者証をもたない児童との交流の会を試みとして実施しています。	令和6年5月～	管理者と児童指導員	参加者1名につき500円程度を予定